

2025

SUPER GT
RACE REPORT

Rd.1

4.12 [sat] - 13 [sun]

[place]

岡山国際サーキット（岡山県美作市）

[weather]

[sat] 晴れのち曇り / [sun] 雨のち曇り

[spectators]

23,200人 ([sat] 8,700人 / [sun] 14,500人)

OKAYAMA INTERNATIONAL CIRCUIT

Rd.1 OKAYAMA >>>> APR 12-13

Rd.2 FUJI >>>>>>>> MAY 03-04

Rd.3 SEPANG >>>>> JUN 27-28

Rd.4 FUJI >>>>>>>> AUG 02-03

Rd.5 SUZUKA >>>>> AUG 23-24

Rd.6 SUGO >>>>>>> SEP 20-21

Rd.7 AUTOPOLIS >>> OCT 18-19

Rd.8 MOTEGI >>>>> NOV 01-02



TOM'S



2025 AUTOBACS SUPER GT Round1 OKAYAMA GT 300km RACE が、4月12日（土）、13日（日）に岡山県の岡山国際サーキットで行われた。#37 Deloitte TOM'S GR Supra（笹原右京 / ジュリアーノ・アレジ）は、予選では不運もあり14番手に終わるも、雨模様で始まった決勝レースで力強い追い上げを披露。3番手でチェッカーフラッグを受けたが、10秒加算のタイムペナルティにより最終結果では5位となった。次戦につながる高いパフォーマンスを開幕戦で発揮した。



37

TGR TEAM Deloitte TOM'S





UKYO SASAHARA 笹原 右京



GIULIANO ALESI ジュリアーノ・アレジ

Rd.1 Result	
Qualifying	14 位
Driver Standings	5 位
Race	5 位
Team Standings	5 位

Qualifying 1	笹原：P14 / 1'17.767
Qualifying 2	-
Race	笹原：1'28.898
ファステストラップタイム	アレジ：1'20.391

QUALIFYING

天候：晴れのち曇り／気温：15℃／路面温度：23℃



**公式練習から手応えを感じるも、
予選ではコース上混雑が影響し14番手。
決勝レースでの巻き返しを狙う。**

昨シーズンは2勝を飾る活躍でランキング5位を獲得した37号車。今年も笹原とアレジのコンビでトップを目指していく。シーズン前の公式テストから上位に食い込むタイムを記録するなど好調さがうかがえる走りをみせていた。

ドライコンディションで行われた公式練習でも調子を維持し、セッション序盤から上位につけるタイムを記録した。セッション中盤はアレジが走行を担当して決勝を見据えたロングランの確認も行い、好ペースを記録。最終的に4番手でセッションを終えた。

午後の公式予選では笹原がQ1のタイムアタックを担当した。マシンの調子は良かったのだが、コース上が混雑した影響で前にいた車両に詰まることとなり、ベストタイムは1分17秒767。14番手でQ2進出を逃す悔しい結果となった。本来の実力を発揮しきれない予選となったが、決勝レースでの追い上げを目指して、チーム一丸となって準備を進めた。

Race

天候：雨のち曇り／気温：13℃／路面温度：15℃

**雨の中でライバルを次々と逆転し、
3番手でチェッカーフラッグ。
タイムペナルティで最終的に5位となる。**



決勝日は一転して朝から雨が降り続け、ウェットコンディションでのレースとなった。安全を考慮してセーフティカー先導のもとスタートされたが、追い越し禁止が解除された直後に後方で複数台が絡むアクシデントが発生して赤旗中断となった。

30分の中断を経てレースが再開されると、37号車のスタート担当だった笹原が次々と前のマシンを抜いて順位を上げていった。その最中に後ろにいたライバルと走行ラインが交錯して相手がコースオフしたことで『危険なドライブ行為』という判定を受け、レース結果に10秒加算のペナルティが出された。それでも上位を狙う勢いは止まらず、アレジに交代したタイミングで3番手に浮上。残り20周の時点で後続との差が30秒あり、表彰台フィニッシュの可能性も出てきていた。しかし、残り15周のところでコースオフ車両が発生してセーフティカーが導入され、これまでのリードがリセットされることに。3番手を守ったままチェッカーを受けたが、タイムペナルティにより最終的に5位でレースを終えた。



良いレースができていただけに、
この結果になったことは悲しい。

ドライバー 笹原 右京

決勝は前半が雨でしたけど、シーズンオフのテストから雨のコンディションには自信はありました。ただ、レースは82周と長丁場だったので先のことも見据えて攻めないようにする場面もありましたけど、冷静に状況をみてオーバーテイクもたくさんできました。クルマもタイヤも本当に素晴らしかったです。

タイムペナルティに関しては、自分としては押し出したつもりは全くありませんでした。チームも納得がいていないです。良いレースが出来ただけに残念です。



良い走りができただけに残念な結果。
次回の富士では必ずリベンジする。

ドライバー ジュリアーノ・アレジ

公式練習ではロングランもやって調子が良かったです。専有走行では履いていたタイヤの特性上タイムは出ませんでした。予選に向けては自信がありました。だからこそ、前にいたクルマに引かかって右京がタイムを出せなかったのは悔しいです。

決勝の終盤は2番手のライバルの背後にいてトライはしましたが、オーバーテイクがしづらいサーキットなので難しかったです。ペースが良くてもリザルトに残せなかったのは残念です。次戦の富士で必ずリベンジします。



チーム監督 ミハエル・クルム

予選Q1で敗退になったことはショックではありましたが、クルマの調子は良かったので14番手から追いついていきたいという気持ちで決勝レースに臨みました。本当は表彰台まで行きたかったですけど、最終的に5位で終わられたのは良かったと思います。今回はドライバーもそうでしたし、チームも完璧な仕事をしてくれました。僕たちとしては3位を獲れただけの走りができたと考えています。

今回ペースが良かったことは、今後に向けては間違いなくポジティブなことですし、次戦の富士につながると信じています。この悔しさをリベンジしたいです。



チームオーナー 館 信秀

タイムペナルティがあっても最終的には表彰台に届きませんでした。それでも内容を見ると非常に良かったと思います。昨年は苦しんだところもありましたが、今年はテストから着実に良くなっていると実感できており、実際に決勝レースでも良いペースで走っていました。この流れで次こそは良い結果を出したいですし、今回優勝した1号車とともに、シーズンのどこかでワンツーフィニッシュを達成したいと思います。次戦も、たくさんの応援をよろしくお願いいたします。

Deloitte.

BINGO

アヴェット・フヨミ

ZENT

GR TOYOTA GAZOO Racing

TGR-D

BRIDGESTONE

OKANO Express

ほうらいせん
www.houraisen.co.jp

ISSE

BRIDE

長海鷗

S&D TAMA GROUP

ENKEI

ThreeBond

HRX

Mizuno

MECHANIX WEAR